

# 10年後の町田市のごみ減量・資源化は…

## 廃棄物減量等推進審議会で議論しています

### 廃棄物減量等推進審議会とは

「町田市廃棄物減量等推進審議会」は、一般廃棄物の減量、処理及び再利用の促進等に関する事項などについて、市長の諮問に応じて審議し、結果を市長へ答申する附属機関です。この会議では、2009年6月から「ごみゼロ」に向けた町田らしい総合的な「一般廃棄物資源化基本計画」の策定に向け審議を行っています。この計画では、町田市の今後10年間のごみ処理と資源化の基本的方

針とともに資源化策を打ち出すための目標値などを示すことを予定しています。

審議会は、学識経験者4人、事業者・関係団体6人、市民委員3人の合計13人で構成されています。会議は原則として公開しています。傍聴を希望される方は、随時本紙等でお知らせする開催情報をご覧のうえ、環境総務課(☎797・7112)へご連絡下さい。

### 町田市のごみは、今…

#### 今日のごみの問題は…

- ・大量の焼却は、町田市だけの問題ではなく、温室効果ガスの発生、資源の枯渇など地球に悪影響を及ぼしています。
- ・私たちは、「大量生産、大量消費、大量廃棄」から持続可能な循環型社会への変換が求められています。
- ・未来の世代に持ち越さないように、私たちの世代が解決しなければならない問題です。



町田リサイクル文化センター



#### 大きな課題は…

- ・町田リサイクル文化センターの清掃工場は、古いものは稼働開始後28年を経過しており、焼却量の削減と環境に負荷を与えない施設への更新が必要です。
- ・家庭から出されるほとんどのプラスチックごみと生ごみは焼却されており、環境に負荷を与えています。

#### 取り組みの現状は…

- ・町田市中期経営計画の戦略目標に「環境先進都市の創造」を掲げています。
- ・「ごみを作らない・燃やさない・埋め立てない」を基本理念として掲げ、取り組みを進めています。
- ・家庭用生ごみ処理機の購入補助、大型生ごみ処理機の貸与による堆肥化を進めています。
- ・市民が不用品を資源として持ち込むリサイクル広場の活動を展開しています。



### 何よりも「ごみになるものを作らない」と「ごみを出さない」ことが重要です!

ごみの減量と資源化の前に心がけることとして、市民一人ひとりが知恵を出し合って、まず、ごみの発生抑制と排出抑制に取り組むことが、何よりも重要です。